

この建物は、中間検査の対象建物です

中間検査 (第二十六号様式)

特定工程(中間検査時期)

- | | | |
|--|-----------|-----------------------|
| <input type="checkbox"/> 木造 | | 屋根工事完了後 |
| <input type="checkbox"/> 3階を木造とした混構造 | RC造 | 2階梁・床の配筋工事完了後 |
| | S造 | 鉄骨建て方工事完了後 |
| <input type="checkbox"/> RC造 | | 2階梁・床の配筋工事完了後 |
| <input checked="" type="checkbox"/> S・SRC造 | | 鉄骨建て方工事完了後(一階もしくは第一節) |

検査の予約

- ・電話で予約して下さい。
- ・検査日の**4日前(土・日・祝日含む)**から「中間検査申請書」を受け付けています。

確認する事項(検査時に提出して下さい)

木造	コンクリート配合報告書・圧縮試験の結果(1週強度。4週強度は完了時まで提出。) 鉄筋ミルシート、写真(根切りから基礎配筋及び隠ぺい部分等) 中間検査チェックシート(中野区版、確認申請書副本に添付しています。)
3階を木造とした混構造	コンクリート配合報告書・圧縮試験の結果、鉄筋引張試験成績書、杭ずれ寸法(杭がある場合) 溶接部第三者検査成績書等、写真(根切りから基礎配筋及び隠ぺい部分等) 中間検査チェックシート(中野区版、確認申請書副本に添付しています。)
S・RC・SRC造	コンクリート配合報告書・圧縮試験の結果、鉄筋引張試験成績書、杭ずれ寸法(杭がある場合) 溶接部第三者検査成績書等、写真(根切りから基礎配筋及び隠ぺい部分等) 中間検査チェックシート(中野区版、確認申請書副本に添付しています。)

申請手数料

30㎡以内	9,900円	500超～1,000㎡以内	34,000円
30超～100㎡以内	11,000円	1,000超～2,000㎡以内	46,000円
100超～200㎡以内	15,000円	2,000超～10,000㎡以内	104,000円
200超～500㎡以内	21,000円		

手数料の算定基準は、木造(主要構造部の一部を含む)の場合は、延べ床面積です。
RC・S・SRC造は、1・2階(地階も含む)の床面積の合計です。

完了検査 (第十九号様式)

検査の予約

- ・電話で予約して下さい。
- (確認申請で設備の審査があった場合は、設備担当へ予約して下さい)
- ・検査日の**7日前(土・日・祝日含む)**から「完了検査申請書」を受け付けています。

申請手数料(特定工程の中間検査を受けた場合)

30㎡以内	11,000 (9,900)円	500超～1,000㎡以内	37,000 (36,000)円
30超～100㎡以内	12,000(11,000)円	1,000超～2,000㎡以内	52,000 (49,000)円
100超～200㎡以内	16,000(15,000)円	2,000超～10,000㎡以内	124,000(115,000)円
200超～500㎡以内	23,000(21,000)円		

手数料の算定基準は延べ床面積です。

中野区建築分野建築確認・検査担当
TEL 3228-5596

中間検査チェックシート

交付番号

建築主名

監理者名

印

意匠

1 敷地

- 面積 変更があった 確認申請と同じ ※〇に $\sqrt{\text{デ}}$ チェック
形状 変更があった 確認申請と同じ
平均地盤面 変更があった 確認申請と同じ

2 配置

壁面から敷地境界線までの距離 (東 m、南 m、西 m、北 m)

3 高さ

平均地盤面からの建築物の高さ (最高の高さ m、軒の高さ m)

4 建築物の形態

- 立面 変更があった 確認申請と同じ
断面 変更があった 確認申請と同じ

設備

- 避雷設備の接地極の位置、材料、抵抗値 確認していない 確認した
排水管が公共下水道等に適正に連結されているか 確認していない 確認した
浄化槽の位置、機種 確認していない 確認した

変更届・計画変更確認申請 申請していない 申請した

変更の内容

監理者が検査をして、不合格にしたこと。そして、どのように訂正させたのか

中間検査チェックシート (鉄骨造)

0 基礎工事・鉄筋コンクリート工事の部分

検査項目	検査内容	検査日付		検査機関			修正 月日
		施工者	監理者	検査方法※1	結果※2	1次	
0-1 基礎工事	2.1.1 中間検査チェックシート(RC造)による			A: 自視検査 B: 計測検査 C: 工事監理報告等	良否	良否	
0-2 RCI工事	2.1.1 中間検査チェックシート(RC造)による						

1 現場検査チェックシート

検査項目	検査内容	検査日付	監理者	検査機関			修正 月日	
				検査方法※1	結果※2	1次		2次
現場検査	01 構造体の架構、部材の配置、部材の寸法等の確認			A・C				
	02 鉄骨製作工場の表示板の表示内容確認			A				
	03 建て方精度がJASS6等に適合していること			A・C				
	04 溶接部の外観・形状がJASS6及び鉄骨精度測定指針に適合していること ※4現場溶接工事→有・無(有の場合は下欄30から37)			A・B・C				
	05 現場受け入れ検査(トルク係数値確認・導入張力確認試験)			C				
	06 ボルトの径、本数、スライズ数、ピッチ・繰あき			A・B・C				
	07 締付け状態の確認(肌すき・ピンチェル破断・ローキングの状態)			A・C				
	08 締め付け機器の調整、現場受け入れ検査(導入張力確認試験)			C				
	09 ボルトの径、本数、スライズ数、ピッチ・繰あき			A・B・C				
	10 締付け状態の確認(肌すきの有無・ローキングの状態)			A・C				
ボルト接合部	①W形			A・B・C				
	②JIS形六角			A・B・C				
	③			A・C				
	プレート接合部	11 プレート接合部の形式・板厚・材質・補剛材等			A・C			
		12 柱脚接合法の確認(既定工法)			A・C			
		13 W形材の保持・埋め込み方法、W形材の材質・形状・板厚			A・C			
		14 W形材の材質・径・本数及び配置とナットの高さ			A・C			
		15 W形材の締め付け状態			A・C			
		16 W形材の径・本数・配座			A・C			
		17 床構造の形式(合成スラブ)			A・C			
18 シヤークネクター(頭付きスタッドその他)の位置・施工状況・検査結果				A・C				
19 累結金物の取り付け状況				A・C				
20 溶接部位(柱・柱・はり・はり)				A・C				
現場溶接部 ※5	21 溶接方法・作業姿勢・溶接技能資格者(技量確認試験あり・なし)			A・C				
	22 溶接管理技術者の配置			A・C				
	23 溶接スライズの設置状況(風除風防・作業床)			A・C				
	24 溶接機器及び溶接用電源の設置状況			A・C				
	25 組立精度の管理(組立溶接、開先角度、ルートギャップ、食違い)			A・C				
	26 溶接中の管理(電流・電圧・予熱・速度対策等)			A・C				
	27 溶接接合部の品質(外観検査及び超音波探傷検査結果がJASS6、鉄骨精度測定指針、JT規準(※6)に適合していること)			A・B・C				

2 東京都建築基準法施行細則第14条に基づき鉄骨工事施工結果報告書による審査事項（年 月 日第 号審査済み）

加工工場の選定	2 8	建築物の規模等の条件に見合った類別であること								
鉄骨部材及び接合部の品質確認	2 9	鋼材、高力ボルトセット、溶接材料の規格・品質等の確認								
製作要領書の確認	3 0	使用材料、品質保証体制、品質管理・検査方法、不具合措置方法								
溶接技能者の資格	3 1	溶接方法、使用鋼材の板厚、溶接姿勢等の条件を満たす資格								
溶接方法の承認	3 2	使用鋼材の材質・板厚等の条件に見合った溶接方法								
組立検査	3 3	開先角度、ルート面、ルートギヤング、食い違い等の精度								
溶接条件の検査	3 4	電流・電圧、予熱等								
製品検査①（部材の寸法精度測定）	3 5	部材の寸法精度								
製品検査②（溶接接合部の品質）	3 6	高力ボルト接合部の摩擦接合面の処理、ボルト孔の径・ピッチ等								
	3 7	外観検査及び超音波探傷検査結果の確認（JASS6、鉄骨精度測定指針及びUT規準に適合していることの確認）								

3 考察等

不具合の処理 及び検査結果 工事全般の考察										
添付図書	<input type="checkbox"/> 製作要領書 <input type="checkbox"/> 鋼材ミルシート <input type="checkbox"/> 鉄骨工事施工結果報告書 <input type="checkbox"/> 溶接部社内検査結果報告書 <input type="checkbox"/> 溶接部受入検査結果報告書（第三者検査） <input type="checkbox"/> 鉄骨精度測定結果 <input type="checkbox"/> 写真	→	都細則第14条に基づく報告による							

- ※1 検査の方法（A：工事現場で目視により検査する B：工事現場で検査機器等を用いて計測検査する C：工事監理報告等による）
 ※2 結果：1次及び2次の意味は、当初の検査（1次）で図書等との不適合を指摘された場合に、手直し等によって対応して2次チェックを受けた場合
 ※3 工場で溶接された部分 ※4 当該工事で構造耐力上主要な部分の接合に用いる高力ボルト等を選択して記入する ※5 現場溶接がある場合のみ記入
 ※6 UT規準：日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準」

番号	検査項目	内容	検査日付	検査者	施工者	検査方法		検査機関用		修正	
						A: 目視検査 B: 計測検査 C: 監理者報告	結果		月日		
							1次	2次			
⑨ 床版	スラフ筋	34	スラフ厚寸法、鉄筋のピッチと径の確認			A・B・C					
		35	主筋方向(短辺・長辺とベント配筋)と支荷条件の確認			A・C					
	定着・重ね継手	36	定着の長さや方法(はり定着、隣接スラフ、段差スラフ定着)			A・B・C					
		37	片持スラフの定着と上端筋位置確保(先端壁有無)			A・B・C					
	38	継手位置と長さ			A・B・C						
	39	床スラフの出入隅部の補強			A・B・C						
	40	開口部補強配筋確認			A・B・C						
	41	階段部配筋と補強筋確認			A・B・C						
	42	スラフの受け筋設置状況			A・C						
	43	壁厚寸法、鉄筋の間隔・径・位置(土圧壁主筋・階段受け筋)の確認			A・B・C						
⑦ 壁	定着・重ね継手	44	定着(はり、柱、スラフ、壁定着)、長さ、方法の確認			A・B・C					
		45	重ね継手の位置と長さの確認			A・B・C					
	補強筋等	46	開口補強配筋確認			A・B・C					
		47	スリットの位置・形状及び配筋確認			A・C					
	設備配管等	48	設備配管(CD管等)の配置確認			A・C					
		49	圧接技量資格者の確認			C					
	ガス圧接継手	50	継手位置のずれ			A・B・C					
		51	形状			A・B・C					
		52	強度確認等			C					
	⑧ その他	特殊鉄筋	53	引張り試験体の抜取り数と位置の確認			A・C				
54			認定、評定工法の確認			A・B・C					
継手		55	継手位置の確認			A・B・C					
		56	型枠及び支柱の締付け、清掃状況確認			A・C					
型枠並びに既存打設部分状況確認		57	打込み欠陥部の有無、及び補修の確認			A・C					
		58	基礎、柱、はり、床板、壁の体寸法の確認			B・C					
危険防止		59	型枠支柱存置期間の確認			A・C					
		60	コンクリート打設後の養生			A・C					
⑨ 不具合の処置及び検査結果の考察		添付図書	61	コンクリートの調合及び圧縮強度の確認			A・C				
			62	仮囲いの設置			A・C				
	63		根切り及び山留めの安全性について			A・C					
	64		基礎工事用機械の転倒防止について			A・C					
	65		落下物に対する防護について			A・C					
⑩	添付図書	くい工事施工結果報告書		} 施行細則 14 条の報告による							
		コンクリート工事施工計画報告書									
		コンクリート圧縮強度試験結果報告書									
		鉄筋ミルシート									
		圧接抜取り引張試験(又は超音波探傷試験)結果									
		評価材の仕様等									
		仮設施工計画書									
		土工事施工計画書									